

新産業の創出に総力

高木、長沢、矢倉の各氏

福島でシンポで訴え



内堀雅雄県知事（中央）と福島の創造的復興を誓い合った高木副大臣、矢倉政務官＝18日 福島市

福島県浜通り地域の新産業創出をめざす「福島イノベーション・コースト構想」を紹介するシンポジウム（主催＝同県、経済産業省、

復興庁）が18日、福島市内で開催され、高木陽介経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）、長沢広明復興副大臣、矢倉克夫農林

水産大臣政務官（いずれも公明党）が出席した。

高木副大臣は、本部長就任からの福島訪問が227日目となることに触れ、「現場に足を運び、被災者に寄り添いながら、除染やインフラ復旧、避難指示解除を地域に合った形で進めていく」と強調した。

長沢副大臣は、同構想の推進を法律に位置付ける「福島復興再生特別措置法

改正案」が今国会に提出されたことに言及し、「県や自治体、関係省庁と密に連携しながら、構想実現に全力を挙げる」と訴えた。矢倉政務官は、福島の創造的復興、農林水産業の再生に向けての決意を述べた。